

本渡中学校開校



真新しい校舎に登校する生徒たち

地域の期待にこたえる



3年 荒木 原弥

暖かい日ざしを浴び、木々も芽吹くこのよき日に、真っ白に美しく輝くこの新本渡中学校が開校いたしました。この1年間私たち生徒のだけれど、この校舎の完成を心待ちにし、新しい学校生活に胸を膨らませておりました。

特に私たち3年生にとりましては、中学校生活最後の1年間を真新しい校舎で学べること、新本渡中学校の第一期卒業生となれること、どのことにおいても胸おどることばかりで、このようなすばらしい環境を与えてくださったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。私たち生徒一同、このような恵まれた環境で学校生活が始まる一方で、新しい学校の新しい校風や伝統づくりにおきましても心を引きしめています。私たちは、佐伊津、本町、本渡とそれぞれの中学校で別々に学ぶとともにすばらしい伝統を引き継ぎ、この中学校に来ました。

また、これまでお世話になった地域の方々の期待も大きいことでしょう。そんな地域の期待にこたえられるような学校づくりをし、これから、私たちはそれぞれの学校のよさを融合させ、すばらしいものとして新しく出発する決意をしています。

そして、みんなで力を合わせ、さらに充実した学校生活を送ることをここに誓い、新しい学校の歴史の第1ページをすばらしいものとするよう、生徒一同心をひとつにがんばります。

本渡町広瀬に建設していた「本渡中学校」が完成し、4月1日に開校しました。本渡中学校は、本渡・佐伊津・本町の3つの学校を統合する中学校で25クラス、819人の生徒でスタートしました。今号では、新しい学校の概要についてお知らせします。

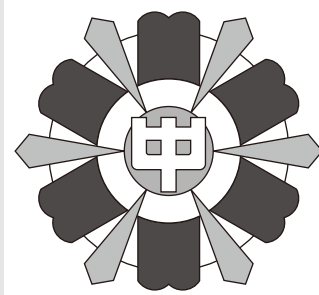
広がる未来に向けた 教育環境の整備

この学校の特色は、太陽光発電施設の設置や屋上の緑化など、地球にやさしい整備を進めることにより、生徒の環境教育にも取り組めるようにしたことです。そして、校舎内部は木材をふんだんに使い、バリアフリーに配慮した温かみのある居住空間を確立。また、学習方法や指導方法の多様化に対応できるよう、多くの機能を持つ多目的スペースを設置しました。このように、天草の豊かな自然に溶け込む校舎に仕上がりました。

太陽光発電による 電力の確保

校舎の屋根に、1,563枚の太陽光パネルを設置し発電を行います。この太陽光パネルは、薄くて衝撃性に強い、屋根材一体型のものを使用しており、最大発電容量は50キロワット。最大発電時には、普通教室で24室程度の電力をまかなうことができます。発電中の状況は、環境への意識向上を目的に1階の多目的ホールに設置している、液晶モニターで見ることが出来ます。

本渡中学校の校章



「本」という字をモチーフに花を作り3校の融合を願い、縦棒は勉学に必要なペンをイメージしている。



【補助事業名】

- 平成20年度太陽光発電新技術等フィールドテスト事業（NEDO技術開発機構）
- 平成21年度九州グリーン電力基金助成事業（〔財〕九州地域産業活性化センター）

本渡中学校概要

- 所在地／天草市本渡町広瀬5番地110
- 連絡先／電話☎4340・FAX☎4241
- 敷地面積／53,979㎡
- 校舎棟／鉄筋コンクリート3階建て
- 体育館棟／鉄筋コンクリート・一部鉄骨2階建て
- 運動場／23,691㎡
 - ・200mトラック・ソフトボール場1面・ハンドボールコート2面・テニスコート4面
- プール／FRP製 25m×8コース
- その他／太陽光発電施設・中庭・駐車場・駐輪場

